



かぼちゃっこ

「笑顔きらきら・夢いっぱい・いきいきチャレンジ宮小っ子」



HP アクセス QR コード



辰年にちなみ、「情熱的に」そして「夢に向かって前進」

～ 明けましておめでとうございます ～

1月9日（火）より、令和6年の学校生活がスタートしました。元気な宮小っ子の声が響き渡ってこそその学校であることを再実感しています。この年末年始休み中、子供たちに大きな事故や怪我等が無く各ご家庭や地域で元気に過ごすことができたこと、保護者並びにご家族、地域の皆様方のお陰と心から感謝申し上げます。

さて、3学期始業式で、校長より下記のような3つの柱で話をしました。特に、1・2学期を振り返り大きな課題と捉えたことは、一つ目に「命より大切なものは無い」こと、二つ目に「子供たちの中に確実にいじめは存在するほか、日常的に仲間を傷つける行為が見られる」ことです。

改めて、子供たち・教職員と「命の尊さ」を再確認するとともに、「子供たちの心を磨き成長させ、しっかりと節目を作る」3学期にしたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



3学期始業式の様子から



◆大切なことなので、繰り返し意識していきましょう。

- ①命と名前を大切にしましょう。
- ②人権について考えましょう。（「くん・さん」をつける、違いを認める、仲間を大切にする）
- ③かかわりと対話を楽しみましょう。

◆辰年にちなんで、皆さんで下記のことをがんばっていきましょう。

- ①今年1年を情熱的に、夢（目標）に向かって前進していきましょう。
辰年の特徴・・・創造性、勇気、自信、夢に向かって前進 など
- ②力を蓄え、準備する3学期にしましょう。
学習のまとめ、仲間とのかかわり、一つ上の学年に上がるという意識



◆「宮小の本当の宝が宮小っ子である」という自覚と誇りを持ち、心を磨き、弱い心に打ち勝ちましょう。

- ①どうしたら、いじめは無くなるのでしょうか。
- ②どうしたら、弱い心に打ち勝つことができるのでしょうか。

なお、代表児童2名に3学期がんばりたいことをインタビューしましたので、下記に紹介します。ぜひ、各ご家庭でもお子さんと話題にし、励ましの言葉をお願いいたします。

私は4月から6年生になるので、下級生を支える存在になりたいと思います。特に、新入生も含めて下級生が学校生活を送る中で、勉強に興味や関心を持てるように教えたり話したりすることをがんばっていききたいと思います。

5年 鈴木麻生 さん

ぼくが、今年がんばりたいことは勉強で、特に英語です。家で、兄がプログラミングをしながら英語だけのすごろくを作っているのを見て、とても驚きました。それがきっかけで、これから英語がとても大切になるのだと思ったからです。

6年 阿部日向大 くん

宮小の宝 第5位「宗生文庫」に込められた願い

～ 生みの親「阿部宗一郎」さんの生き方・考え方に触れて ～

子供たちが宮小の宝 第5位に選んだ「宗生文庫」。なぜ、それが宝なのかは、生みの親である阿部宗一郎さんの生き方や考え方にヒントがあると考え調べました。すると、16歳頃に太平洋戦争参加、その後、捕虜としてシベリアでの過酷な生活を強いられたこと、そして戦争参加以降の約10年間の生活は常に死と隣り合わせで、数回命を失いかけたことも分かりました。そんな背景を知るにつれ、「宗生文庫」の「生」には、次のような強いメッセージが込められているように感じます。



- 子供たちが「生命」の尊さを理解し、「生命」を大切にしたい。
- 子供たちが「生きる」ことの素晴らしさを味わい、充実した人生を送って欲しい。
- これから「生まれてくる」子供たちみんなに、幸せになって欲しい。

今年度も本校では、「たくさん本を読む」ことを柱に読書活動に力を入れてきました。しかし、読書の良さは、決してたくさん読むことばかりではありません。例えば、

- ①言葉を磨くことができる。(言葉の大切さを学ぶ、素晴らしい表現に触れるなど)
- ②わからないことを本で調べ、解決することができる。
- ③本を読むことで、たくさんの情報を集めることができる。
- ④本に書いてある内容を思い描き、想像力を豊かにすることができる。
- ⑤書いた人の考えに触れることで、自分の考えが広がったり深まったりする。
- ⑥登場人物の生き方・考え方に触れ、自分の生き方を考える。



などです。

子供たちの手には、すでに今年度の宗生文庫一冊が渡されています。阿部宗一郎さんの思いを胸に大切に読んで欲しいと思います。そして、なぜ読書をするのかを考えながら、大人になっても有意義な読書生活を送って欲しいと思います。

一画一画、一筆一筆に心を込め書き初め大会

1月9日(火)に校内書き初め大会を実施しました。「金賞・銀賞をとること以上に、書く意味を考えて欲しい」「題材に込められた思いを相手に伝えるために、心を込め書いて欲しい。」そんな願いを子供たちに伝えました。1月19日(金)まで書き初め展を開催中ですので、ぜひご覧ください。

今年度も、古川さん・阿部さん手作りの門松が玄関を彩っており、始業式で子供たちに紹介しました。本当に、ありがとうございます。



1・2年生は硬筆



3年生以上は毛筆

